

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	口腔衛生推進事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	02安心して暮らせるまち
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施策	01健康の保持・増進
事業実施期間	平成18年度～永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	口腔に関する知識を深め、口や歯の健康と健全な健康づくりの充実を図るため、事業に要する費用に対し支援している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	口腔に関する知識を深め、口や歯の健康を守り、全身状態を良好に保つことで、健全な健康づくりの充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	播磨歯科医師会が実施する歯科衛生診療等に参加する住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	播磨歯科医師会が実施する口から始まる健康づくり推進事業に要する費用に対し補助金を支出する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	5,000千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	5,000千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	025 保健衛生事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	5,000千円	5,000千円	5,000千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 口と歯の健康づくりの分野は、専門知識を持った歯科医師等の意見や援助が必要不可欠であるため、継続して事業を実施していくべきである。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	口腔衛生推進事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加古川市人口(10/1付住民基本台帳人口)	人	264,508	263,241	261,966

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地域歯科保健分野活動回数	回	18	14	23
学校歯科保健分野活動回数	回	9	5	0
活動指標分析結果	年間を通じて、月に2回程度の活動を行っている。なお、当年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動の一部を中止している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
イベント等参加者数	人	650	114	351	令和4年度	400
成果指標分析結果	令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としていた健康フェアを再開したため、前年度より参加者数が増加している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	市民ヘルスケア補助事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	02 安心して暮らせるまち
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康の保持・増進
事業実施期間	平成19年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	住民の主体的な健康づくりや疾病の早期発見・早期治療の意識を促すため、健康や医療に関する幅広いテーマでの講演・講習等を行っており、事業に要する費用に対し支援している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	健康や医療に関する幅広いテーマでの講演、講習等を行うことで、住民の主体的な健康づくりや疾病の早期発見、早期治療の意識を促す。
対象 ※誰、何に対して	加古川医師会が実施する各種健康に関する講演会等に参加する住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川医師会が実施する市民ヘルスケア支援事業に要する費用に対し補助金を支出する。

【コスト】

		令和3年度(決算見込)
事業費合計		2,628 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,628 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	025 保健衛生事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	9,000 千円	5,743 千円	2,628 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	健康や医療に関連する分野は、専門知識を持った医師等の意見や援助が必要不可欠であるため、継続して事業を実施していくべきである。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	市民ヘルスケア補助事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加古川市人口(10/1付住民基本台帳人口)	人	264,508	263,241	261,966

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
健康分野活動回数	回	70	39	18
医療分野活動回数	回	71	57	72
活動指標分析結果	活動分野の多寡はあるが、年間を通じて週に2回程度の割合で活動を行っている。なお、令和2・3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動の一部を中止している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
イベント等参加者数	人	1,017	218	491	令和4年度	1,000
成果指標分析結果	新型コロナウイルス感染拡大の防止のため、講習会等を一部中止したことにより、令和2・3年度の参加者数は減少している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	兵庫県健康大学加古川講座負担事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	02 安心して暮らせるまち
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康の保持・増進
事業実施期間	昭和50年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	行政の一部負担額を変更することなく、事業開始当初からこれまで、同様の支援を継続している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	健康づくりに関する知識を医師等の専門家から提供することで、より健康に対する意識の向上を図り、自主的な健康づくりを促す。
対象 ※誰、何に対して	健康に関する講座を希望する加古川市、稲美町及び播磨町の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	兵庫県医師会が加古川医師会に委託している「健康に関する講座開設事業」に対し負担金を支出する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	0千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	025 保健衛生事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	240千円	0千円	0千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	兵庫県が実施主体である事業ではあるものの、住民の健康づくりのため、県とともに継続して支援を行っていくべきであると考えている。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	兵庫県健康大学加古川講座負担事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
健康に関する講座を希望する加古川市、稲美町及び播磨町の住民	人	102	0	0

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
健康大学開講回数	回	17	0	0
活動指標分析結果	令和2・3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止したため実績はゼロとなっている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
健康大学平均参加数	人	83	0	0	令和4年度	100
成果指標分析結果	例年、平均参加数が80人以上で推移したが、令和2・3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催を中止したため実績はゼロとなっている。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	健康づくり支援事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	市民健康課

【基本情報】

基本目標	02安心して暮らせるまち
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施策	01健康の保持・増進
事業実施期間	平成26年度～永年
事業区分	④義務的施策事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	健康増進法

【事業概要】

現状と課題	第2次健康増進計画の基本目標である「健康寿命の延伸」を達成するためには、バランスのよい食事、適度な運動、禁煙などのよりよい生活習慣の実践による生活習慣病の発症予防や重症化予防への取組が重要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	『ウェルネスプランかこがわー第2次健康増進計画・第2次食育推進計画ー』に基づき、市民の主体的な健康づくりへの取組を支援し、生活習慣病の予防及び心身機能の維持向上を図ることを目的とする。
対象 ※誰、何に対して	加古川市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	参加者は1日の平均歩数+1,000歩を目標とし、約半年間(26週間)健康づくりに取り組む。参加特典として、参加者にはかこがわウェルビーポイント(50pt)を付与し、目標達成者から抽選で景品を贈呈する。参加者の取組を支援するために、健康だよりの送付や教室の開催を行う。目標達成者は取組期間26週のうち16週以上(61.5%以上)取り組めた参加者とする。

【コスト】

		令和3年度(決算見込)
事業費合計		330千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	330千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	02 予防費
細目	015 保健推進事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	285千円	308千円	330千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年度の事業参加者は減少したものの、参加者の達成率については、ほぼ例年通りの成果をあげている。今後は、事業の手段を見直し、より若い世代も対象とした取り組みを行うことで事業の充実を図る。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	健康づくり支援事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	市民健康課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加古川市人口(4/1付住民基本台帳人口)	人	264,847	263,524	262,349

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
健康情報の提供回数	回	3	3	3
健康に関する教室の実施回数	回	4	0	1
活動指標分析結果	事業参加者に対して「健康だより」を3回送付。健康情報の提供を行い目標達成への意識を高めた。健康に関する教室は、11月に屋外でウォーキング教室を1回開催した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
事業参加者数	人	216	287	161	令和5年度	500
目標・取組み達成者率	%	63.8	80.5	38.5	令和5年度	70
成果指標分析結果	令和3年度は取り組み目標を1つに絞ったことにより参加者数が減った。目標達成率は、令和3年度の取り組み目標の平均歩数+1,000歩と比較すると、令和2年度は39.5%、令和元年度は45.5%とほぼ例年通りの成果となる。令和4年度より事業方法を変更して実施するため、目標値を再設定している。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	自殺予防事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	市民健康課

【基本情報】

基本目標	02安心して暮らせるまち
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施策	01健康の保持・増進
事業実施期間	平成22年度～永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	自殺対策基本法、自殺総合対策大綱、兵庫県自殺対策計画、加古川市自殺対策計画

【事業概要】

現状と課題	自殺者数は、平成26年以降40人前後で推移しており、令和2年は39人、令和3年は42人となっている。また、令和3年は20～50歳代の働き盛りの男性や、60歳代以上の高齢者の自殺者の割合が高い。広く自殺予防への普及啓発を行うとともに、ターゲットをしぼった対策の検討が必要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	自殺者数の減少を目指す。
対象 ※誰、何に対して	加古川市内に在住している市民及び、関係団体。（学校、相談機関、企業を含む。）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	1) ゲートキーパー養成研修を開催。2) 自殺予防に関する健康教育・普及啓発を実施。3) 各種自殺統計による分析を行い、自殺に関する加古川市の現状を把握。4) 加古川市自殺対策推進本部会議及び連絡会議等にて、情報共有・交換。5) こころの健康相談・支援の実施。6) 自殺未遂者支援のため事例検討会を開催。

【コスト】

		令和3年度（決算見込）
事業費合計		1,555 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	995 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	560 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	03 民生費
項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費
細目	065 自殺予防事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	1,543 千円	957 千円	1,555 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	全国・県では自殺による死亡者数が減少傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、令和2年増加に転じてから令和3年もその状況が続いている。加古川市では、自殺による死亡者数が平成26年以降横ばい状態が続いていたが、令和2年に減少した後、令和3年は増加に転じた。今後も自殺による死亡者数及び自殺死亡率が増加する可能性があることから、引き続き対策が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	自殺予防事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	市民健康課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加古川市人口(10/1付住民基本台帳人口)	人	264,847	263,241	261,966

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
ゲートキーパー養成研修参加人数	人	1,469	507	700
自殺予防に関する健康教育参加人数	人	0	0	0
普及啓発媒体の配布	部	12,790	20,221	26,742
活動指標分析結果	指標1では、主催者や参加者に感染症対策等の協力を得ることで研修を実施することができ、また、庁内の職場人権研修などに取り入れてもらうことで計画に沿った養成ができた。指標3では、啓発媒体の相談先カードや啓発ちらしなどは計画配付数には及ばなかったものの、関係機関等の協力により昨年度よりも拡充して実施することができた。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
自殺死亡率(人口10万人対)	人	17.3	14.8	16	令和5年度	14.8
成果指標分析結果	加古川市の自殺死亡率は、平成26年に大きく減少したが、平成29年以降は、全国・県を上回ってきた。令和2年は14.8と大きく減少したが、令和3年は16.0と増加しており、引き続き新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化や経済的な影響などによる自殺者の増加が懸念され、今後も対応が必要である。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	がん患者医療用補整具購入費助成事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	市民健康課

【基本情報】

基本目標	02 安心して暮らせるまち
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康の保持・増進
事業実施期間	令和3年度 ～ 永年
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	市内がん診療連携拠点病院と連携し、治療を受けるがん患者へ制度の案内チラシを配付しているが、どの医療機関で治療していても対象者であれば誰でも平等に申請ができるため、支援を必要とする患者への制度周知が今後の課題である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	がんの治療に伴う外見の悩みを抱えるがん患者に対し、医療用補整具の購入費用を助成することで経済的負担を軽減する。また、外見へのケアを行うことで精神的な苦痛を軽減し、患者の生活の質の向上を図る。
対象 ※誰、何に対して	がんの治療に起因する脱毛または乳房切除に伴い医療用補整具（医療用ウィッグ、乳房補整下着、人工乳房）を購入した者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	がんと診断され、その治療に伴い脱毛又は乳房を切除した者に、医療用ウィッグや乳房補整具の購入費用の一部又は全部を助成する。（助成額上限：医療用ウィッグ50千円、補整下着10千円、人工乳房50千円）

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	5,029 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	1,584 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	3,445 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	02 予防費
細目	015 保健推進事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	0 千円	0 千円	5,029 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	がん患者が治療後も充実した生活を送れるよう、引続き医療用補整具購入費の助成を行う。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	がん患者医療用補整具購入費助成事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	市民健康課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
医療用補整具購入費助成申請件数	件	0	0	120

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
医療用補整具購入費助成件数	件	0	0	120
活動指標分析結果	制度開始当初は申請が少なかったものの、年間で120件（医療用ウィッグ97件、補整下着10件、人工乳房13件）の申請があり、制度の周知が進んでいる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
医療用補整具購入費助成の助成率	%	0	0	100		0
成果指標分析結果	がん診療連携拠点病院と連携し、治療を受けるがん患者に対し制度周知の案内チラシを配付している。そのため、対象となるがん患者へ制度や申請窓口の周知が図られ、手続きもスムーズに行われている。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	加古川総合保健センター管理負担事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	02 安心して暮らせるまち
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康の保持・増進
事業実施期間	昭和60年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	加古川総合保健センターは、平成27年1月にJR加古川駅北に移転しており、交通利便性が向上し、利用可能面積も広がった。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	JR加古川駅に近く、大人数の収容が可能な同一会場を確保することで、利用者の利便性を考慮しながら、計画的な健診等を実施する。
対象 ※誰、何に対して	加古川総合保健センター内のウェルネージホール等で実施する健診や相談、ふれあい教室等に参加する住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川市が専用利用している加古川総合保健センター内のウェルネージホール等にかかる管理費用分等に対し負担金を支出する。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	10,501 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	10,501 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	025 保健衛生事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	10,739 千円	10,237 千円	10,501 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	健康増進活動の充実を図るための拠点施設として活用していくことが必要であり、利用にあたり市として管理費用等を負担することは妥当であるため、継続して実施していくべきである。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	加古川総合保健センター管理負担事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
施設数	施設	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加古川総合保健センター市利用部分負担金	千円	10,658	10,217	10,501
活動指標分析結果	駐車場使用料や光熱水費の経費が増加したため、負担金はやや増額となった。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
加古川総合保健センター市利用部分使用日数	日	203	214	193	令和4年度	200
成果指標分析結果	平日の使用が大半だが、毎年200日程度利用しており、稼働率は高いことから、有効利用できている。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	地域保健医療情報システム事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【基本情報】

基本目標	02 安心して暮らせるまち
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康の保持・増進
事業実施期間	平成1年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	当初は健康管理のみを中心に運用を開始したが、機能を充実させてきた結果、現在、成人保健システムや感染症情報提供システム、介護保険の認定審査で利用する主治医意見書システム等、複合的な機能を備えたシステムとなっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地域住民が安心して健康で豊かな生活を送ることができるよう、地域医療環境を支援するシステムの基盤整備を行う。
対象 ※誰、何に対して	地域保健医療情報システムに蓄積された健康及び医療データの閲覧等に同意した加古川市、稲美町及び播磨町の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	同意書やカインドカードの配布回収業務や、新規参画医療機関の確保、各種システムの改良及び保守業務等に加え、健診データも活用する必要性があることから、加古川総合保健センターが実施している事業に対し負担金を支出している。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	72,054 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	72,054 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	030 地域保健医療情報システム事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	74,790 千円	72,081 千円	72,054 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	医師不足や少子高齢化社会の進行に伴い、地域医療の充実が求められる中、地域医療情報システムのより良い運用について、加古川総合保健センター等関係機関との調整が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	地域保健医療情報システム事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	地域医療課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地域保健医療情報システム登録者数	人	153,290	156,690	160,612
加古川地域医療機関	件	200	201	203

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
地域保健医療情報システムのデータ閲覧に同意した加古川市、稲美町及び播磨町の住民	人	53,078	53,784	54,571
地域保健医療情報システムに参画している加古川地域医療機関	件	130	131	130
活動指標分析結果	システムのデータ閲覧に同意した人数及び参画医療機関の数は、ほぼ前年度から変わっていない。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
地域保健医療情報システム同意率	%	35	34	34	令和4年度	50
地域保健医療情報システム参画医療機関率	%	65	65	64	令和4年度	80
成果指標分析結果	同意率は40%弱、参画医療機関率は70%弱に留まっており、更なる向上を図る必要がある。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	健康診査事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	市民健康課

【基本情報】

基本目標	02安心して暮らせるまち
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施策	01健康の保持・増進
事業実施期間	昭和58年度～永年
事業区分	④義務的施策事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	健康増進法、がん対策基本法

【事業概要】

現状と課題	がん検診の受診率は年々低下しており、受診率向上の取組として特定年齢の者への個別勧奨や無料検診の実施等の対策を実施している。今後は、利便性の向上を目指し、受診体制の見直しが必要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	より多くの市民ががん検診等を受診することで、疾病の予防および早期発見、早期治療の推進を図る。
対象 ※誰、何に対して	18歳以上の市民（各検診項目により対象年齢は異なる）
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	がん検診等を実施し、ちらしの配布や広報等による周知を図るとともに、特定年齢の者に検診無料クーポン券等を送付するなどして受診を促進する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	151,492千円	
財源内訳	国庫支出金	6,572千円
	県支出金	15,357千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	129,563千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	02 予防費
細目	015 保健推進事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	125,223千円	113,578千円	151,492千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>法に基づく義務的事业。検診受診率の維持・向上のためには、対象者への個別勧奨や検診費用自己負担の無料化が有効であるが、検診委託料等のコストが必要となる。平成26年度以降、がん検診事業等に対する国庫補助縮小に伴い、自己負担金が生じたこと等により、各がん検診の受診率は減少傾向にある。今後、受診率・利便性の向上に向け、受診しやすい体制の整備が必要である。</p>

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	健康診査事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	市民健康課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象数（20歳以上の女性）	人	80,183	79,157	78,269
対象数（40歳以上の女性）	人	53,675	53,063	52,481

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
子宮がん検診受診者数	人	3,632	2,813	3,267
乳がん検診受診者数	人	3,552	2,154	4,222
活動指標分析結果	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は受診者数が激減したが、令和3年度は乳がん個別検診の拡充や個別通知数の増加により、受診者数が増えた。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
子宮がん検診受診率	%	7.9	8.1	7.8	令和4年度	25
乳がん検診受診率	%	12	10.7	12.1	令和4年度	25
成果指標分析結果	子宮がん・乳がん検診は2年に1回の受診機会であるため、評価年度及びその前年の受診者数の合計で受診率を算定している。そのため、令和2年度の受診者数の減少が受診率に影響するが、乳がん個別検診の拡充により、40歳代の受診者が増え、受診率が1.4ポイント向上した。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	特定健診事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【基本情報】

基本目標	02安心して暮らせるまち
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施策	01健康の保持・増進
事業実施期間	平成20年度～永年
事業区分	④義務的施策事業
地区別	市内全域
関連根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律第20条

【事業概要】

現状と課題	平成30年度から6年計画で策定した第3期特定健康診査等実施計画（第2期データヘルス計画に包含）に基づき、課題である受診率の向上に取り組む必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	疾病の早期発見、生活習慣病等の予防により、健康保持・増進を図る。
対象 ※誰、何に対して	40歳以上の国民健康保険被保険者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	特定健診、特定保健指導を自己負担なしで実施する。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	141,862千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	92,946千円
	地方債	千円
	その他特財	48,916千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	02 国民健康保険事業特別会計
款	05 保健事業費
項	01 保健事業費
目	01 保健衛生普及費
細目	015 保健事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	150,762千円	136,640千円	141,862千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	高齢者の医療の確保に関する法律第20条に基づき40歳以上の国民健康保険被保険者に対しては特定健診を実施する必要がある。令和2年度には「第3期加古川市国民健康保険特定健康診査等実施計画」の中間評価を行い、特定健診目標受診率を現実的な数値に引き下げを行った。受診率目標を達成するために一層の受診勧奨が必要である。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	特定健診事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
特定健診受診票当初発送者数	人	42,013	41,441	40,744

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象指標のうち、特定健診受診者数	人	14,189	12,264	12,762
活動指標分析結果	未受診者に対する文書・電話による受診勧奨に加え、かかりつけ医での受診勧奨を実施し、受診者数の向上に取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は減少し、令和3年度は回復したものの、新型コロナウイルス感染症が収束するまでの間は、感染状況により受診者が増減することが見込まれる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
特定健診受診率(活動指標/対象指標)	%	33.8	29.6	31	令和5年度	47
成果指標分析結果	未受診者に対する文書・電話による受診勧奨に加え、かかりつけ医での受診勧奨を実施し、受診率の向上に取り組んでいる。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は減少し、令和3年度は回復したものの、感染が収束するまでの間は、感染状況により受診率は増減することが見込まれる。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	医療費通知事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【基本情報】

基本目標	02 安心して暮らせるまち
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康の保持・増進
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成24年度からジェネリック医薬品使用による差額通知を発送し、更なる医療費適正化に努めている。平成25年度から医療費通知作成については、業者による作成から国保連による作成に変更し経費を抑えている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	被保険者自身が利用した医療に対する費用を周知し、保険制度の必要性を認識してもらうとともに、健康に対する意識を高め自己管理を促し、医療費の適正化を図る。
対象 ※誰、何に対して	国民健康保険被保険者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	医療費の額及び薬剤差額を通知する。

【コスト】

		令和3年度（決算見込）
事業費合計		13,375 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	13,375 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	02 国民健康保険事業特別会計
款	05 保健事業費
項	01 保健事業費
目	01 保健衛生普及費
細目	010 医療費通知事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	13,606 千円	13,345 千円	13,375 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	適切な通知によりジェネリック医薬品の使用率は順調に上昇しており、医療費の適正化が図られている。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	医療費通知事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
国民健康保険被保険者数	人	55,608	54,603	53,839

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
医療費通知発送世帯数(年6回)	世帯	174,473	168,872	169,458
後発医薬品差額通知発送世帯数(年3回)	世帯	2,699	2,361	2,154
活動指標分析結果	医療費通知発送世帯数は、被保険者数の減により減少傾向にあり、令和3年度の増加は、新型コロナウイルスの感染状況によるものと推察する。後発医薬品差額通知発送世帯数は、後発医薬品使用率向上により減少傾向にある。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
後発医薬品使用率	%	79.4	81.2	81.9		0
成果指標分析結果	後発医薬品差額通知の発送回数を年3回に増やし、被保険者証の更新時に勸奨シールを同封するなど、同医薬品の使用促進に努め、後発医薬品使用率は順調に上昇している。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	後期高齢者医療健康診査事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【基本情報】

基本目標	02 安心して暮らせるまち
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康の保持・増進
事業実施期間	平成20年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律第125条

【事業概要】

現状と課題	後期高齢者の増加に伴い、医療費は増加傾向にある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	後期高齢者の健康を保持し、医療費抑制を図る。
対象 ※誰、何に対して	後期高齢者医療被保険者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	医科については、加古川総合保健センター及び加古川医師会の協力医療機関で、健康診査を実施する。歯科については、播磨歯科医師会の協力医療機関で、健康診査を実施する。

【コスト】

		令和3年度（決算見込）
事業費合計		72,143 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	55,446 千円
	一般財源	16,697 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	02 予防費
細目	035 後期高齢者医療健康診査事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	22,535 千円	22,167 千円	72,143 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	増加し続ける医療費を抑制するためには、健康診査を実施し、疾病の早期発見、早期治療に繋げることが大切であり、被保険者の増加や、医科については令和3年度から生活習慣病で治療中の者を健診対象者にすることでコストは増大したが、今後も継続実施が必要な事業である。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	後期高齢者医療健康診査事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
後期高齢者医療健康診査受診対象者数（医科）	人	13,349	12,239	34,132
後期高齢者医療健康診査受診対象者数（歯科）	人	5,458	5,310	5,016

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
健康診査受診者数（医科）	人	2,063	1,892	7,470
健康診査受診者数（歯科）	人	519	431	460
活動指標分析結果	令和3年度の受診者数は、医科については対象者の拡充に伴い前年度に比べて大幅に増加した。また歯科についても前年度よりも微増した。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
健康診査受診率（医科）	%	15.45	15.46	21.89		0
健康診査受診率（歯科）	%	9.51	8.12	9.17		0
成果指標分析結果	医科、歯科ともに受診率は前年度に比べて上昇した。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	後期高齢者医療事業特別会計繰出事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【基本情報】

基本目標	02 安心して暮らせるまち
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康の保持・増進
事業実施期間	平成20年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律第99条

【事業概要】

現状と課題	令和4・5年度は、兵庫県後期高齢者医療広域連合が給付費準備基金を活用したことにより、令和2・3年度に比べて保険料率は低下する。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	後期高齢者医療事業特別会計の健全な財政運営を図る。
対象 ※誰、何に対して	後期高齢者医療被保険者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	一般会計から後期高齢者医療事業特別会計に繰り出しを行う。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	683,764 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	483,936 千円
	地方債	千円
	その他特財	292 千円
	一般財源	199,536 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	03 民生費
項	01 社会福祉費
目	12 後期高齢者医療費
細目	010 後期高齢者医療事業特別会計繰出事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	602,869 千円	671,475 千円	683,764 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	法定の繰出事業であり、特別会計の健全な運営のためには、不可欠の事業である。

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	後期高齢者医療事業特別会計繰出事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
後期高齢者医療被保険者数	人	35,455	35,978	37,165

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
後期高齢者医療事業特別会計繰出金（保険基盤安定）	千円	566,918	629,386	645,248
後期高齢者医療事業特別会計繰出金（事務費）	千円	35,951	42,089	38,516
活動指標分析結果	保険基盤安定繰出金については、高齢者の増加により、今後も増が見込まれる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
後期高齢者医療事業特別会計繰出金	千円	602,869	671,475	683,764		0
成果指標分析結果	高齢者の増加により、今後も増が見込まれる。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	後期高齢者医療人間ドック助成事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【基本情報】

基本目標	02 安心して暮らせるまち
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康の保持・増進
事業実施期間	平成23年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律第125条

【事業概要】

現状と課題	令和元年度以降、広域連合が人間ドックを受診した被保険者1人あたりの上限額を設定し、その額に市町が助成した受診者数を乗じた金額が交付されていたが、令和4～5年度にかけて補助上限額が段階的に削減され、令和6年度には補助が廃止される予定である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	後期高齢者の健康を保持し、医療費抑制を図る。
対象 ※誰、何に対して	後期高齢者医療被保険者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川総合保健センター、加古川中央市民病院、はりま病院、加古川磯病院、順心病院、たずみ病院、松本病院、堀胃腸外科、大西メディカルクリニックで実施する人間ドックの受診者にドック費用の一部を助成する。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	2,938 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	1,746 千円
	一般財源	1,192 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	02 予防費
細目	050 後期高齢者医療人間ドック助成事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	1,947 千円	2,293 千円	2,938 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	増加し続ける医療費の抑制のため、人間ドックの助成を実施し、受診を促すことで疾病の早期発見、早期治療に繋げることが大切であり、今後も継続実施が必要な事業である。兵庫県後期高齢者医療広域連合の補助が削減・廃止されることから、県内他市町の動向を踏まえ、補助内容については検討する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	後期高齢者医療人間ドック助成事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
後期高齢者医療被保険者数	人	35,455	35,978	37,165

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
人間ドック受診者数	人	132	109	120
活動指標分析結果	受診者数は、新型コロナウイルスの影響で減少した前年度に比べると増加したが、新型コロナウイルス発生以前の受診者数には至っていない。			

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
人間ドック受診者数	人	132	109	120		0
成果指標分析結果	受診者数は、新型コロナウイルスの影響で減少した前年度に比べると増加したが、新型コロナウイルス発生以前の受診者数には至っていない。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	国民健康保険事業特別会計繰出事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【基本情報】

基本目標	02安心して暮らせるまち
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施策	01健康の保持・増進
事業実施期間	～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	国民健康保険法第72条の3

【事業概要】

現状と課題	被用者保険と比べ、年齢構成が高いことにより医療費水準が高く、低所得加入者が多く所得に占める保険料負担が重いといった構造的な課題を抱えていることから、財政運営は不安定なものとなりがちである。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	国民健康保険事業特別会計の健全な財政運営を行う。
対象 ※誰、何に対して	国民健康保険被保険者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	一般会計から国民健康保険事業特別会計に繰り出しを行う。

【コスト】

		令和3年度(決算見込)
事業費合計		2,285,029 千円
財源内訳	国庫支出金	241,430 千円
	県支出金	796,012 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	1,247,587 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	03 民生費
項	01 社会福祉費
目	01 社会福祉総務費
細目	040 国民健康保険事業特別会計繰出事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	2,300,944 千円	2,213,896 千円	2,285,029 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 一般会計から国民健康保険事業特別会計への繰出しは、法令等のルールに基づき、適正に執行している。
---------------------------------------	---

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	国民健康保険事業特別会計繰出 事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
国民健康保険被保険者数	人	55,608	54,603	53,839

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
国民健康保険事業特別会計繰出金（福祉医療波及分）	千円	372,738	247,489	303,713
国民健康保険事業特別会計繰出金（保険料減免分）	千円	87,652	84,797	86,630
活動指標分析結果	福祉医療波及分の繰出金については、平成28年度から全部繰出しとしており、被保険者数や医療費の動向等により年度間で多寡が見られる。保険料減免分の繰出金は減免申請数等により増減が見られる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
国民健康保険事業特別会計繰出金（福祉医療波及分）	千円	372,738	247,489	303,713		0
国民健康保険事業特別会計繰出金（保険料減免分）	千円	87,652	84,797	86,630		0
成果指標分析結果	福祉医療波及分の繰出金については、平成28年度から全部繰出しとしており、被保険者数や医療費の動向等により年度間で多寡が見られる。保険料減免分の繰出金は減免申請数等により増減が見られる。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	人間ドック助成事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【基本情報】

基本目標	02 安心して暮らせるまち
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康の保持・増進
事業実施期間	昭和56年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	加古川市国民健康保険人間ドック助成規則

【事業概要】

現状と課題	人間ドック受診者の増加に向け、制度のさらなる周知を図る。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	疾病の早期発見、生活習慣病等の予防により、健康保持・増進を図る。
対象 ※誰、何に対して	30歳以上の国民健康保険被保険者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	人間ドックを受ける場合に、その費用の一部を助成する。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	5,672 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	5,672 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	02 国民健康保険事業特別会計
款	05 保健事業費
項	01 保健事業費
目	01 保健衛生普及費
細目	015 保健事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	6,985 千円	4,808 千円	5,672 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	健康増進を図るための保健事業として、疾病や生活習慣病の予備群等を早期に発見し、早期治療や生活習慣の見直しと改善を促す事業としては効果が高いものである。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	人間ドック助成事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
国民健康保険被保険者数(30歳以上)	人	48,271	46,764	46,634

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
国民健康保険人間ドック受診者数	件	470	324	380
活動指標分析結果	人間ドック受診者数は増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度、令和2年は減少している。令和3年度は平成30年度実績の8割程度まで回復したものの、新型コロナウイルスの感染状況の影響が大きく、収束されるまでの間は、感染状況により受診者数は増減するものと見込まれる。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
国民健康保険人間ドック受診者数	件	470	324	380		0
成果指標分析結果	人間ドック受診者数は増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度、令和2年は減少している。令和3年度は平成30年度実績の8割程度まで回復したものの、新型コロナウイルスの感染状況の影響が大きく、収束されるまでの間は、感染状況により受診者数は増減するものと見込まれる。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	がん検診促進事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【基本情報】

基本目標	02 安心して暮らせるまち
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康の保持・増進
事業実施期間	平成27年度 ～ 永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	胃がん、肺がん、大腸がんなど、がんを死因とした死亡者数が多いため、若年者のがん発症の早期発見を行い、被保険者の健康保持・増進を図る必要がある。がん検診受診率の向上が課題である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	若年者の胃がん、肺がん、大腸がん発症を早期発見することにより、被保険者の健康保持・増進を図る。
対象 ※誰、何に対して	国民健康保険被保険者で当該年度中に40歳、45歳、50歳、55歳、60歳を迎える者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	加古川総合保健センターで実施する胃がん、肺がん、大腸がん検診を受ける場合に、その費用を負担する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	910 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	910 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	02 国民健康保険事業特別会計
款	05 保健事業費
項	01 保健事業費
目	01 保健衛生普及費
細目	015 保健事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	647 千円	834 千円	910 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	健康増進を図るための保健事業として、がん発症の早期発見に寄与していくことから事業効果は高いと見込まれる。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	がん検診促進事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
国保被保険者数 (40、45、50、 55、60歳)	人	2,856	2,729	2,747

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
胃がん検診受診者数	人	233	237	250
肺がん検診受診者数	人	326	333	376
大腸がん検診受診者数	人	0	326	380
活動指標 分析結果	受診者数の向上を図るため、対象者へチラシを同封して無料クーポン券を送付する。また、クーポン券未使用者に対して、文書で受診勧奨を行う。令和2年度・令和3年度は胃がん・肺がんの受診者数は向上している。※大腸がんの無料クーポン券送付は令和2年度から実施している。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
胃がん検診受診率	%	8.2	8.7	9.1	令和5年度	25
肺がん検診受診率	%	11.4	12.2	13.7	令和5年度	30
大腸がん検診受診率	%	0	11.9	13.8	令和5年度	20
成果指標 分析結果	受診者数の向上を図るため、対象者へチラシを同封して無料クーポン券を送付する。また、クーポン券未使用者に対して、文書で受診勧奨を行う。令和2年度・令和3年度は胃がん・肺がんの受診率は向上している。※大腸がんの無料クーポン券送付は令和2年度から実施している。					

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	後期高齢者保健事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【基本情報】

基本目標	02 安心して暮らせるまち
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康の保持・増進
事業実施期間	令和3年度 ～ 永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律第125条の2

【事業概要】

現状と課題	令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で事業実施に制限が生じた。今後も新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら事業を実施することとなる。また、対象人数の拡大については医療専門職を計画的に確保することが必須となる。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	後期高齢者のフレイル、生活習慣病重症化等を予防する。
対象 ※誰、何に対して	後期高齢者医療被保険者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	後期高齢者健診の結果や国保データベース等を活用し、低栄養のおそれのある人や医療機関への受診が必要な人に対し、受診勧奨及び保健指導を実施する。また、いきいき百歳体操等、高齢者の通いの場において、フレイル予防等の健康教育を行うとともに、フレイル状態にある高齢者等の把握に努め、健康相談により受診勧奨等の保健指導を行う。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	7,308 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	7,220 千円
	一般財源	88 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	02 予防費
細目	032 後期高齢者保健事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	0 千円	0 千円	7,308 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 後期高齢者の健康保持のため今後も継続実施が必要な事業である。
---------------------------------------	--

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	後期高齢者保健事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【対象】

対象指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
後期高齢者医療被保険者数	人	0	0	37,165

【事業実績】

活動指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
支援対象者数(ハイリスクアプローチ)	人	0	0	179
通いの場の団体数(ポピュレーションアプローチ)	団体	0	0	149
活動指標分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目標値
支援実施者実数(ハイリスクアプローチ)	人	0	0	174		0
健康教育の実施延人数(ポピュレーションアプローチ)	人	0	0	2,243		0
成果指標分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	歯周病検診促進事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【基本情報】

基本目標	02安心して暮らせるまち
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施策	01健康の保持・増進
事業実施期間	令和元年度～永年
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	未受診者への受診勧奨を実施し、受診率の向上を図っているが、受診率が低迷している状況にあり、今後の受診率向上が課題である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	歯周病を早期発見することにより、被保険者の健康保持・増進を図る。
対象 ※誰、何に対して	国民健康保険被保険者で当該年度中に30歳を迎える者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	播磨歯科医師会に加入する歯科医院で実施する歯周病検診を受ける場合に、その費用を負担する。

【コスト】

	令和3年度(決算見込)	
事業費合計	114千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	114千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	02 国民健康保険事業特別会計
款	05 保健事業費
項	01 保健事業費
目	01 保健衛生普及費
細目	015 保健事業

【コスト推移】

	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(決算見込)
事業費合計	113千円	96千円	114千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	健康増進を図るための保健事業として、歯周病の早期発見に寄与していくことから事業効果は高いと見込まれる。令和4年度からは、糖尿病と歯周病が相関関係にあることに着目し、事業の対象に特定保健指導の積極的支援の対象者を加える。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	歯周病検診促進事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業対象者数	人	343	308	303

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
歯周病検診受診者数	人	22	26	11
活動指標分析結果	受診者数の向上を図るため、対象者へチラシを同封して無料クーポン券を送付する。また、クーポン券未使用者に対して、文書で受診勧奨を行う。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
歯周病検診受診率	%	6.41	8.4	3.6	令和5年度	7.7
成果指標分析結果	受診率の向上を図るため、対象者へチラシを同封して無料クーポン券を送付する。また、クーポン券未使用者に対して、文書で受診勧奨を行う。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	糖尿病重症化予防事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【基本情報】

基本目標	02 安心して暮らせるまち
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	01 健康の保持・増進
事業実施期間	平成29年度 ～ 永年
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成29年度から当事業を開始した。当該判断基準の有所見者割合は改善しつつあるが、依然として当市の国民健康保険の疾病別医療費のうち、生活習慣病の中では糖尿病が最も高い割合を占めており、引き続き未治療者や治療中断者等の重症化リスクの高い者への支援が必要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	糖尿病を正しく理解させ、生活習慣の改善を促し、必要な医療等を受けさせることにより重症化を予防する。
対象 ※誰、何に対して	国民健康保険の特定健診受診者のうち、3疾患（糖尿病、高血圧、脂質異常症）治療なしなどに加え、HbA1cが一定以上の者。（糖尿病改善教室）HbA1c 6.5以上、（受療勧奨訪問指導）HbA1c 8.0以上。（糖尿病治療中断者受診勧奨）レセプト情報により、糖尿病治療歴があるにもかかわらず6ヶ月間継続して糖尿病治療のない者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	糖尿病改善教室への参加、保健師又は管理栄養士による家庭訪問等での保健指導（受療勧奨面接、糖尿病治療中断者受診勧奨）

【コスト】

		令和3年度（決算見込）
事業費合計		11,589 千円
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	11,589 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	02 国民健康保険事業特別会計
款	05 保健事業費
項	01 保健事業費
目	01 保健衛生普及費
細目	015 保健事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	9,869 千円	10,122 千円	11,589 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	疾病別医療費のうち、生活習慣病の中では糖尿病が最も高い割合を占めており、糖尿病の重症化リスクが高い者に対して、生活習慣の改善や適切に医療受診をするための介入が必要である。

事務事業名	糖尿病重症化予防事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
国民健康保険糖尿病改善教室対象者数	人	691	1,316	1,096
国民健康保険糖尿病受療勧奨対象者数	人	136	115	176

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
国民健康保険糖尿病改善教室参加者数	人	79	85	107
国民健康保険糖尿病受療勧奨面接数	人	132	109	120
糖尿病治療中断者受診勧奨数	人	0	3	38
活動指標分析結果	糖尿病改善教室は3回1コースとして4コース実施し、約1割程度の参加があった。令和3年3月からは糖尿病治療中断者の受診勧奨を開始して治療継続を促し、糖尿病重症化予防を推進した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
HbA1cの維持・改善率（糖尿病改善教室分）	%	74.6	64.9	79.8	令和5年度	70
医療機関を受診した者の割合（受療勧奨面接分）	%	76.5	76.8	78.1	令和5年度	90
糖尿病の治療を再開した者の割合	%	0	33.3	47.9	令和5年度	50
成果指標分析結果	糖尿病改善教室は健診受診時と終了時の検査結果を比較すると、79.8%が改善・維持できた。受療勧奨訪問は93.8%に支援し、支援前に既に受診していた者も含め、78.1%が受療につながった。治療中断者受診勧奨は79.2%に支援し、支援前に既に受診していた者も含め、47.9%が治療再開につながった。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	服薬指導事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【基本情報】

基本目標	02安心して暮らせるまち
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施策	01健康の保持・増進
事業実施期間	令和元年度～永年
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	抽出結果の通知について、処方内容をそのまま送付すると、患者の判断で服薬を中止する可能性等があることから、送付前に医学的見地から医師会等に内容を確認してもらう必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	服薬情報をお知らせし、適正な服薬を促すことで被保険者の健康改善及び国保財政の健全化を図る。
対象 ※誰、何に対して	国民健康保険被保険者のうち、重複・多剤・併用禁忌の投薬を受けている者。
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	国民健康保険被保険者の重複服薬・多剤服薬等を防ぐため、レセプト情報から該当者を抽出し、服薬情報を通知する。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	517千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	517千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	02 国民健康保険事業特別会計
款	05 保健事業費
項	01 保健事業費
目	01 保健衛生普及費
細目	015 保健事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	5,607千円	2,689千円	517千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 重複等の服薬状況を改善する目的のため、費用対効果を考慮しながら事業の調整を行っていく必要がある。
---------------------------------------	--

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	服薬指導事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
事業対象者数	人	200	982	998

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
通知発送件数	件	73	982	998
活動指標分析結果	令和2年度から対象者を増やし、服薬指導通知のほかにお薬手帳の利用勧奨通知を送付することとした。これは啓発的な意味もあるが、結果として服薬状況の改善に繋げる目的がある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
改善数	人	40	600	850		0
成果指標分析結果	令和3年度から服薬状況が重篤な者への訪問指導を実施している。令和3年度の改善数が対象者を変更した令和2年度から増加していることから、事業成果が出ていると推察する。					

加古川市事務事業評価シート（令和3年度実施事業）

事務事業名	要受療者支援事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【基本情報】

基本目標	02安心して暮らせるまち
政策	02健康づくりや地域医療を充実する
施策	01健康の保持・増進
事業実施期間	令和3年度～永年
事業区分	⑥市施策事業（臨時）
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	令和3年度より当事業を開始した。特定健診の結果、腎機能の低下が見られる者に対し、電話・訪問等の支援を実施している。腎機能の悪化は将来人工透析が必要となるリスクが高く、早期の支援が必要である。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	腎機能の低下がみられる未治療者に受療勧奨や保健指導を行うことで、腎機能の維持・改善を図るとともに、生活習慣の改善を行う。
対象 ※誰、何に対して	国民健康保険の特定健診結果、腎機能の低下があり受療を要する者。基準：高血圧・糖尿病・脂質異常症の治療をしていない者のうち、HbA1cが6.4以下であり、①尿たん白が（+）以上かつeGFR45～60未満の者、②eGFR45未満の者
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	電話や面接による医療機関への受療勧奨を行うとともに、生活改善のための保健指導を実施。

【コスト】

	令和3年度（決算見込）	
事業費合計	2,720 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	2,720 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	02 国民健康保険事業特別会計
款	05 保健事業費
項	01 保健事業費
目	01 保健衛生普及費
細目	015 保健事業

【コスト推移】

	令和元年度（決算）	令和2年度（決算）	令和3年度（決算見込）
事業費合計	0 千円	0 千円	2,720 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	腎機能低下者への早期介入を行うことで、腎機能の維持・改善が見込まれ、医療費の適正化にもつながるため、継続実施する。

加古川市事務事業評価シート〈令和3年度実施事業〉

事務事業名	要受療者支援事業	部局名	健康医療部
		課(室)名	国民健康保険課

【対象】

対象指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
要受療者支援事業対象者数	人	0	0	83

【事業実績】

活動指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度
支援実施者数	人	0	0	81
活動指標分析結果	対象者のうち90%以上の者に受診勧奨や生活習慣改善の指導が実施できた。今後は、次年度の特定健診の結果や受診の継続について確認を行い、支援内容について検討・評価を行う。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標年度	目 標 値
医療機関を受診した者の割合	%	0	0	90.4	令和5年度	60
成果指標分析結果	対象者のうち90%以上の者が受療につながった。初年度のため、今後は継続的に受療できているか、腎機能の維持・改善ができていくか等を、経年的に見ていく必要がある。					